

		(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業
A.	工事概要	
	工事名称	(受善青7-1)善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事
	工事場所	宇治市宇治善法110番地の1
	工事範囲	1.仮設工事 2.解体撤去工事 遊戯棟、新館棟、渡り廊下棟、その他工作物の解体撤去
	[解体撤去工事]	
	1.確認	解体撤去物及び範囲については、事前に監督職員の立会いの上、確認する。
	2.解体作業	着工前に建物の構造・規模を十分調査し、危険のないよう実施すること。作業は、騒音・振動・防塵等の防止対策をたて、低振動低騒音工法(油圧によるかみ砕き工法等)とし、作業中は十分な散水を行う。
	3.機器・備品	解体撤去物内に残っている機器・備品等は監督職員と協議して処分する。
	4.地中埋設物	地中埋設物(基礎・土間・各設備配管)についても、全て撤去する。
	5.発生材処分	(1)本工事における発生材は全て場外処分とし、敷地内での焼却処分は一切行わない。 (2)処分場所は、公的許可を得た処分場とし、(下記以外の場合は事前に監督職員と協議する。産業物処理計画書及び報告書、マニフェストE票の写し等の必要な書類を提出する。 (3)センサス(再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)を提出する。 (4)「産業物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面を備え付ける。 (5)工事完成時に産業廃棄物の収集運搬車輦への表示状況が確認出来る写真を提出する。 (6)処分方法 ・非飛散性アスベスト含有成形板及び石綿管については、(財)宇治産業物処理公社にて処分する。 ・鉄筋、鉄骨、金属等はスクラップとする。 ・鉄筋コンクリートは鉄筋とコンクリートに分類し、鉄筋についてはスクラップ場へ持って行く。 ・コンクリート塊、アスファルト塊については、再資源施設へ搬出すること。また、発生木材については可能な限り再資源施設へ搬出する。 ・その他のものについては、公的許可を得た処分場にて適切に処分する。 (7)ルームエアコンについては家電リサイクル法に従い、適切に処理を行うこと。 (8)消火器は施設管理者に引き渡すものとする。 (9)敷地内のガス設備(ガス管)撤去については本工事にて行うこと。
	6.産業廃棄物税	「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という)は、京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものです。また、中間処理施設に搬入される産業廃棄物においても、リサイクル後の処理残滓等が最終処分施設に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税されます。尚、本工事に対しても、産廃税相当額を見込んでいます。
	7.フロンガス回収	(1)対象空調機の撤去 (2)対象空調機の場外搬出 (3)対象空調機の産業廃棄物の処理 (4)対象空調機のフロンガス回収及び破壊処分 ・冷媒フロンの回収方法 業務用冷媒空調機器はフロン回収破壊法に基づいて行う。 ・冷媒フロンの回収 既設空調機器の撤去に伴う冷媒フロンガス回収は第1種フロン回収業者の冷媒フロン回収認定技術者で行い、許可を受けたフロン回収業者で処理する。また行程管理票に基づいて処理する。

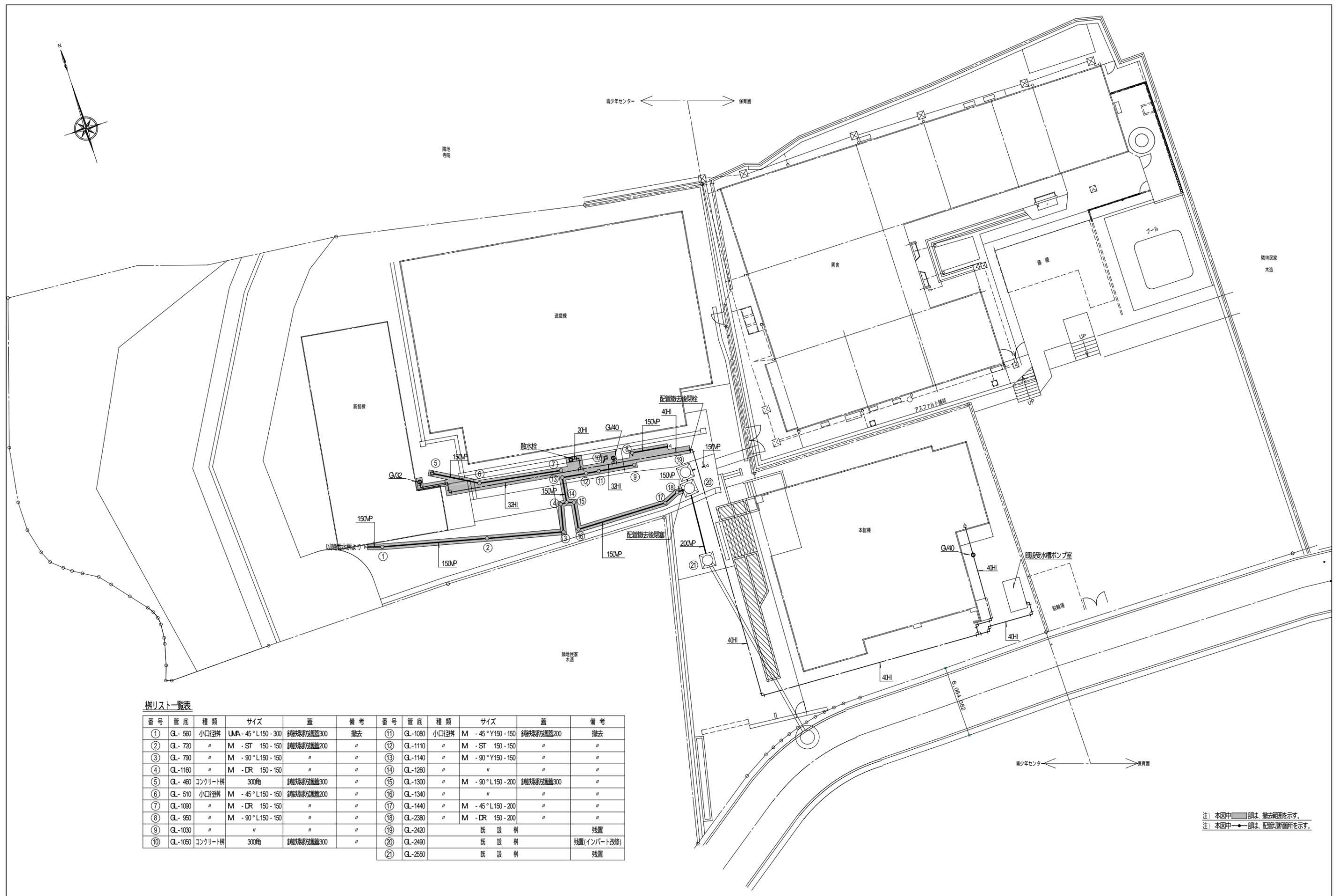
● 配管材料	屋内雑排水管	水道用亜鉛メッキ鋼管 (SGPW)
		● 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (DVLP)
		● 硬質塩化ビニル管 (VP)
		石綿ビニル二層管 (TMP)
	屋内汚水排水管	鋳鉄管
		排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (DVLP)
		● 硬質塩化ビニル管 (VP)
		石綿ビニル二層管 (TMP)
	通気管	水道用亜鉛メッキ鋼管 (SGPW)
		排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (DVLP)
硬質塩化ビニル管 (VP)		
	石綿ビニル二層管 (TMP)	
ポンプ圧送管	硬質塩化ビニル管 (VP)	
屋外排水管	● 硬質塩化ビニル管 (VP)	
	遠心力鉄筋コンクリート管 (外圧管1種のB形)	
備考	据え付け渡し(既製品)等の床面上露出部分の配管は、ビニル管でもよい。(保温不要)	

凡 例

記 号	名 称	SGP	SGP	HIVP	DVLP	VP	VU	材-	SGP	PE	備 考
		-VLP	-VS					VP	(白)		
—	汚水管 (屋外地中埋設部分)										
— P —	汚水管 (汚水ポンプ圧送管)										汚水ポンプ圧送系統はVP継手はTS947を使用
—	雑排水管 (屋外、屋内露出部分)										塗装共
— W —	給水管 (屋外地中埋設部分)										
— H —	消火管 (屋外地中埋設部分)										
-----	既設汚水管 (屋外地中埋設部分)										
--- 通気 ---	通気管 (屋外露出、地中埋設部分)										屋外露出部分は材-VP
-----	既設排水管 (屋外地中埋設部分)										
----- W -----	既設給水管 (屋外地中埋設部分)										
----- H -----	既設消火管 (屋外地中埋設部分)										
----- G -----	既設ガス管 (屋外地中埋設部分)										

- 1) 上表中 印を適用する
- 2) 管材は下記の通りとする

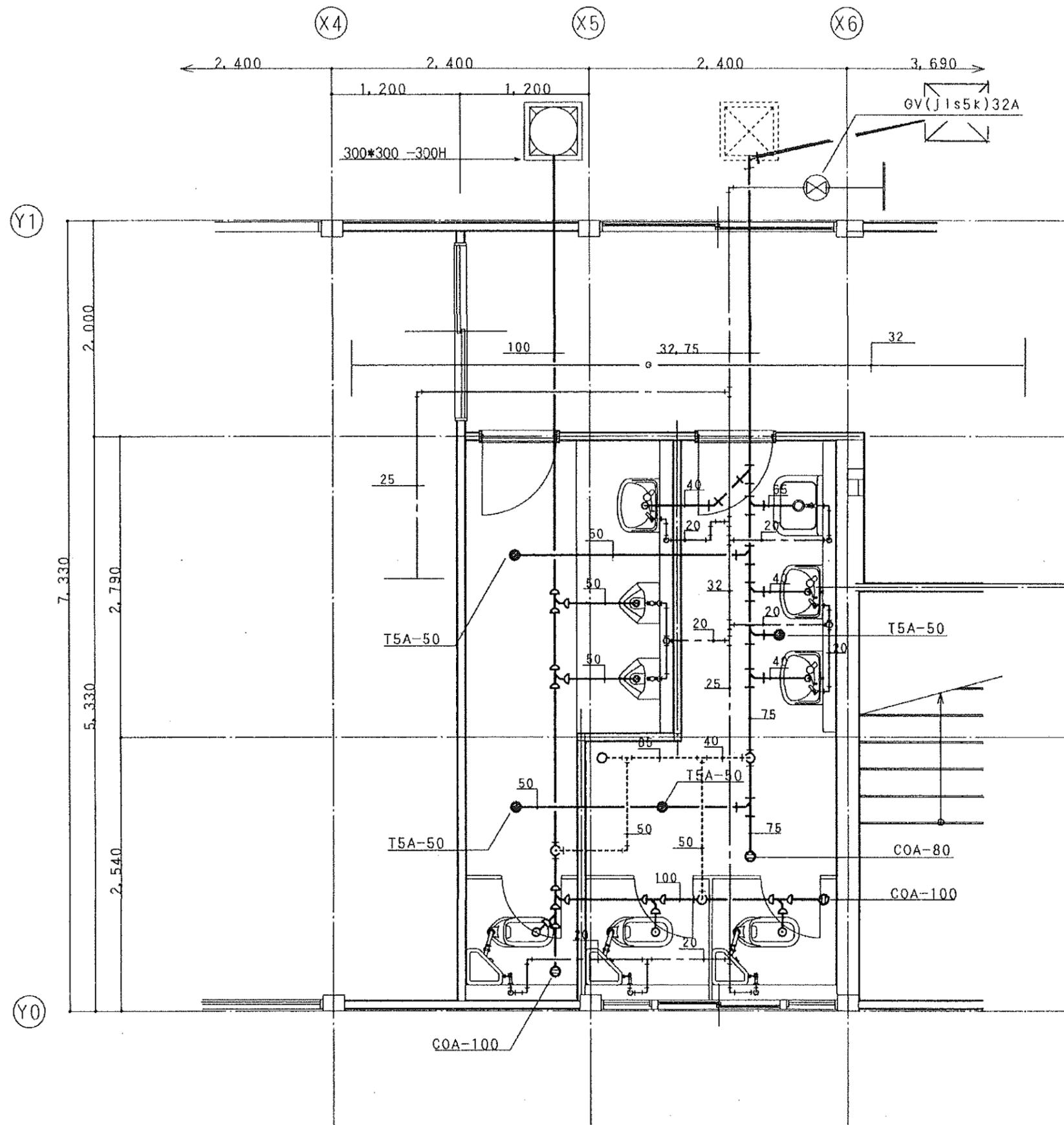
SGP-VLP	水道用塩化ビニルライニング鋼管
SGP-VD	内外面被覆水道用塩化ビニルライニング鋼管
DVLP	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
VP	硬質塩化ビニル管
HIVP	耐衝撃性硬質ビニル管
PE	ガス用ポリエチレン管
SGP(白)	配管用炭素鋼管
SGP-VS	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管



樹リスト一覧表

番号	管底	種類	サイズ	蓋	備考	番号	管底	種類	サイズ	蓋	備考
①	GL-560	小口径樹	UM - 45° L150 - 300	鋳鉄製防凍蓋300	撤去	⑪	GL-1080	小口径樹	M - 45° Y150 - 150	鋳鉄製防凍蓋200	撤去
②	GL-720	"	M - ST 150 - 150	鋳鉄製防凍蓋200	"	⑫	GL-1110	"	M - ST 150 - 150	"	"
③	GL-790	"	M - 90° L150 - 150	"	"	⑬	GL-1140	"	M - 90° Y150 - 150	"	"
④	GL-1160	"	M - DR 150 - 150	"	"	⑭	GL-1260	"	"	"	"
⑤	GL-460	コンクリート樹	300角	鋳鉄製防凍蓋300	"	⑮	GL-1300	"	M - 90° L150 - 200	鋳鉄製防凍蓋300	"
⑥	GL-510	小口径樹	M - 45° L150 - 150	鋳鉄製防凍蓋200	"	⑯	GL-1340	"	"	"	"
⑦	GL-1090	"	M - DR 150 - 150	"	"	⑰	GL-1440	"	M - 45° L150 - 200	"	"
⑧	GL-950	"	M - 90° L150 - 150	"	"	⑱	GL-2380	"	M - DR 150 - 200	"	"
⑨	GL-1030	"	"	"	"	⑲	GL-2420		既設樹		残置
⑩	GL-1050	コンクリート樹	300角	鋳鉄製防凍蓋300	"	⑳	GL-2490		既設樹		残置(インポート改修)
						㉑	GL-2550		既設樹		残置

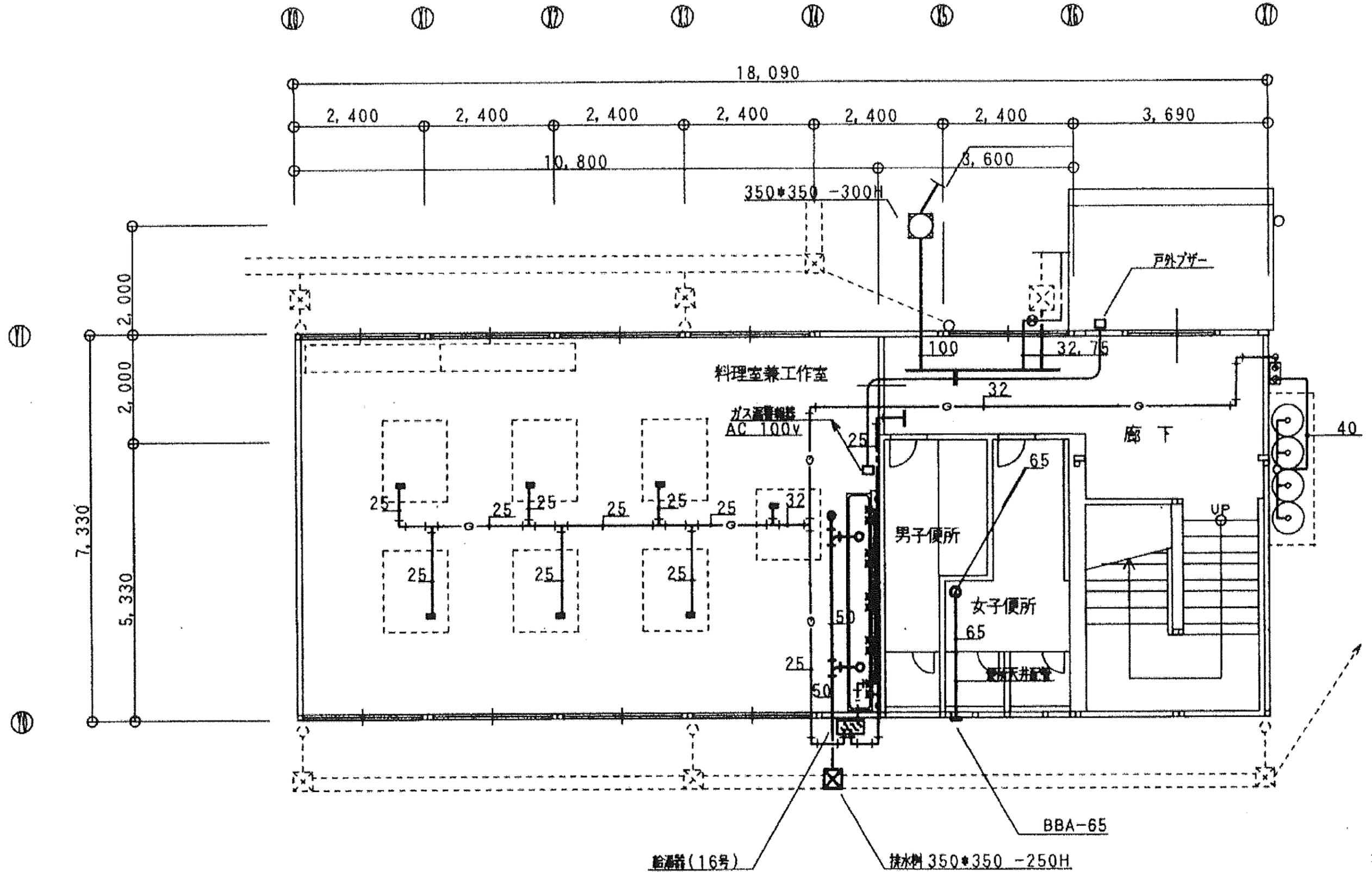
注) 本図中□部は、撤去範囲を示す。
 注) 本図中●部は、配管切断箇所を示す。



衛生器具表 (撤去)

器具名称	数量	備考
洗面便器	3	
ストール小便器	2	
洗面器	3	
掃除用洗し	1	
化粧鏡	3	

注) 本図中の器具・配管を全て撤去とする。



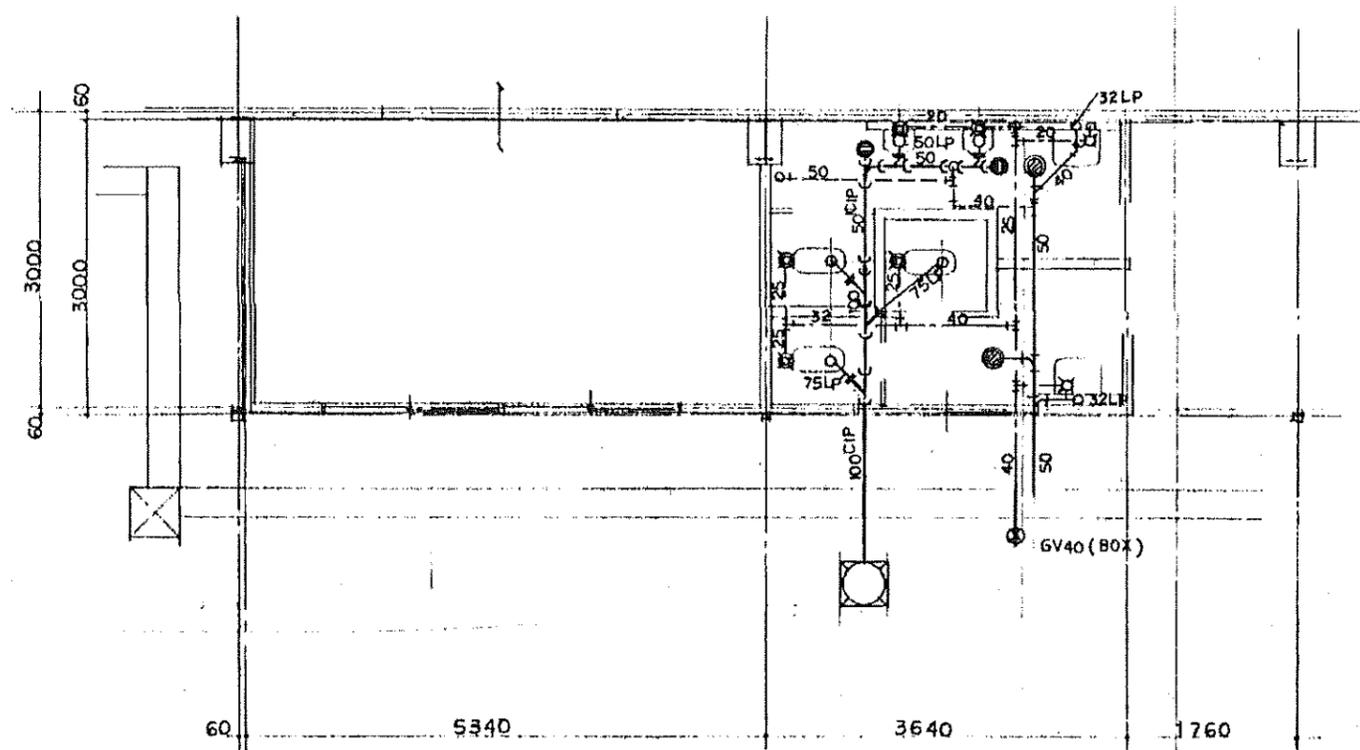
給湯管(16号)

検水計 350*350 -250H

BBA-65

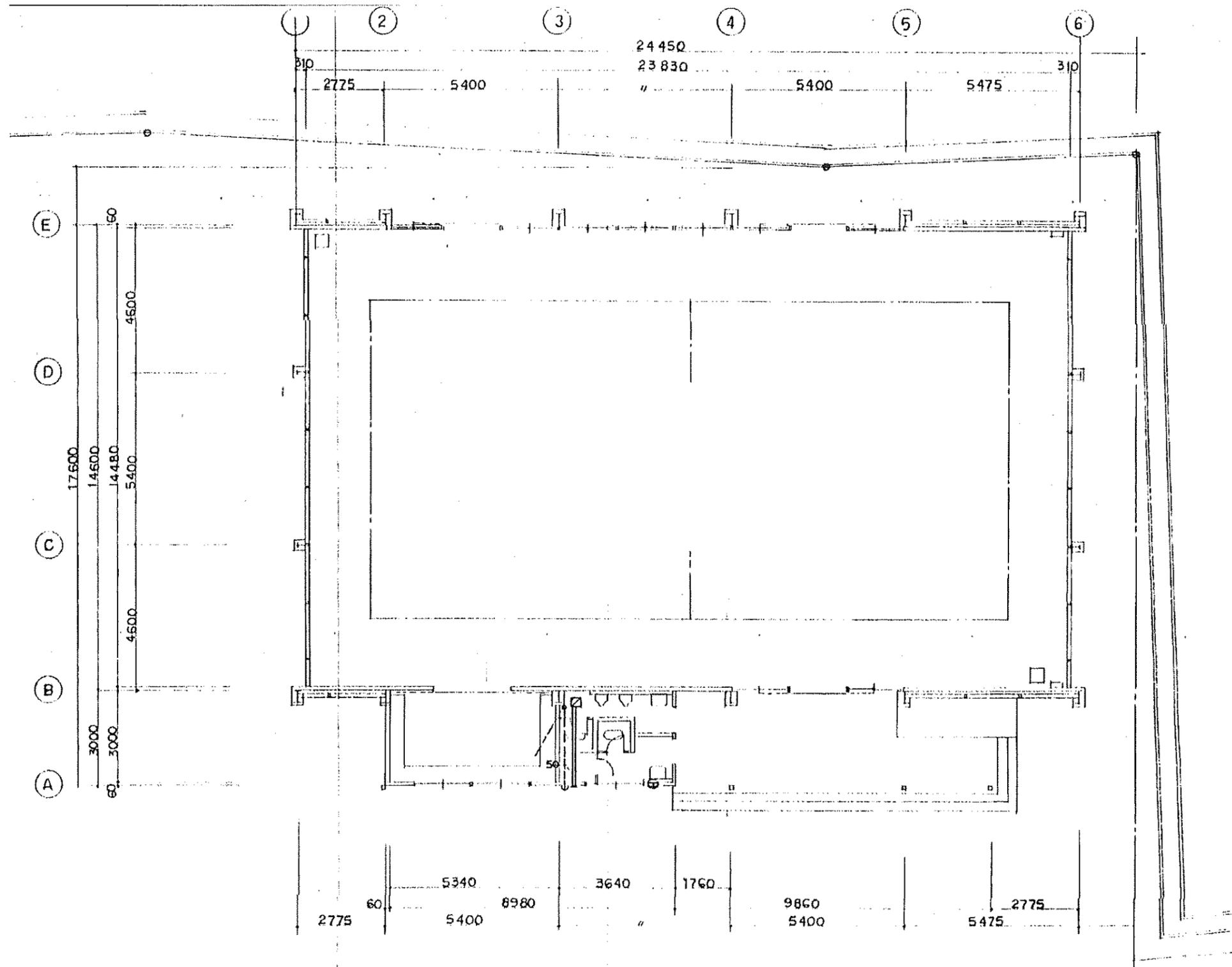
て除去する。

訂正	発注年月日		since 1982 株式会社 小笠原設計 OGASAHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所大阪府知事登録(シ)第593号 管理建築士 現 正人 1級建築士登録番号第238350号	日付年月	令和 7年 10月	工事名	善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事	図面番号	M-004
	図面名称	新館棟解体 1階平面詳細図(衛生・ガス)		図面尺	A2→1/50				



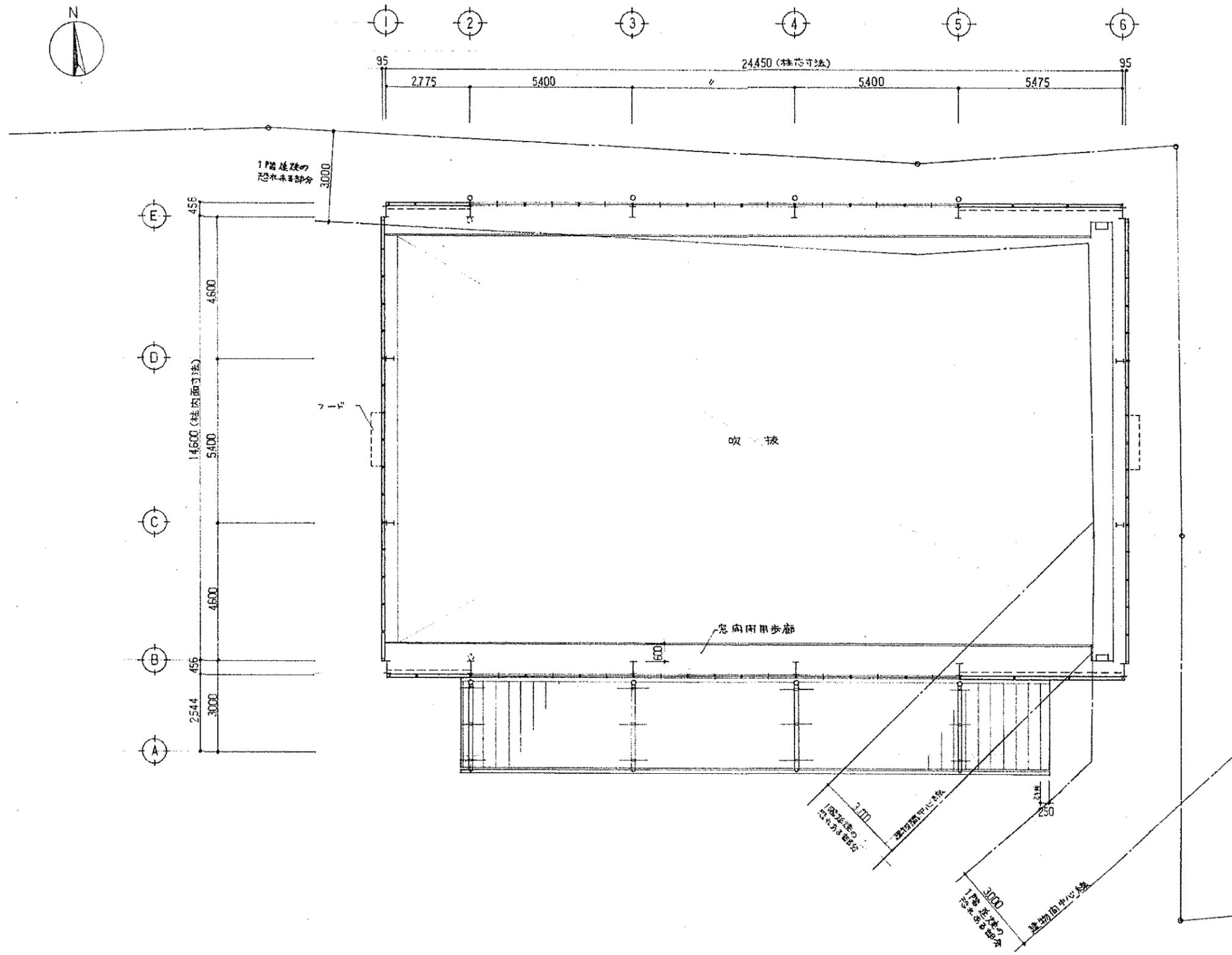
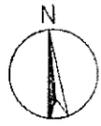
器具名	品番	付属品	男子便所	女子便所	合計
和風大便器	VC 317	フアンファン TV15QNC, スポット TB2C32, フォンズ T53FWA75, 洗面器 TS11GR	1		1
小便器	U53	フアンファン T60P, スポット T62-1G, 排水金具 TC5A		2	2
洗面器	VL630	止水栓 T20S, 止水栓 T4A, 排水金具 TGP	1	1	2
化粧鏡		363 x 455 x 5	1	1	2
床錆本金物	TSB - 50		1	1	2
掃出口金物	COB - 50		2		2

注) 本図中の器具・配管を全て除去とする。



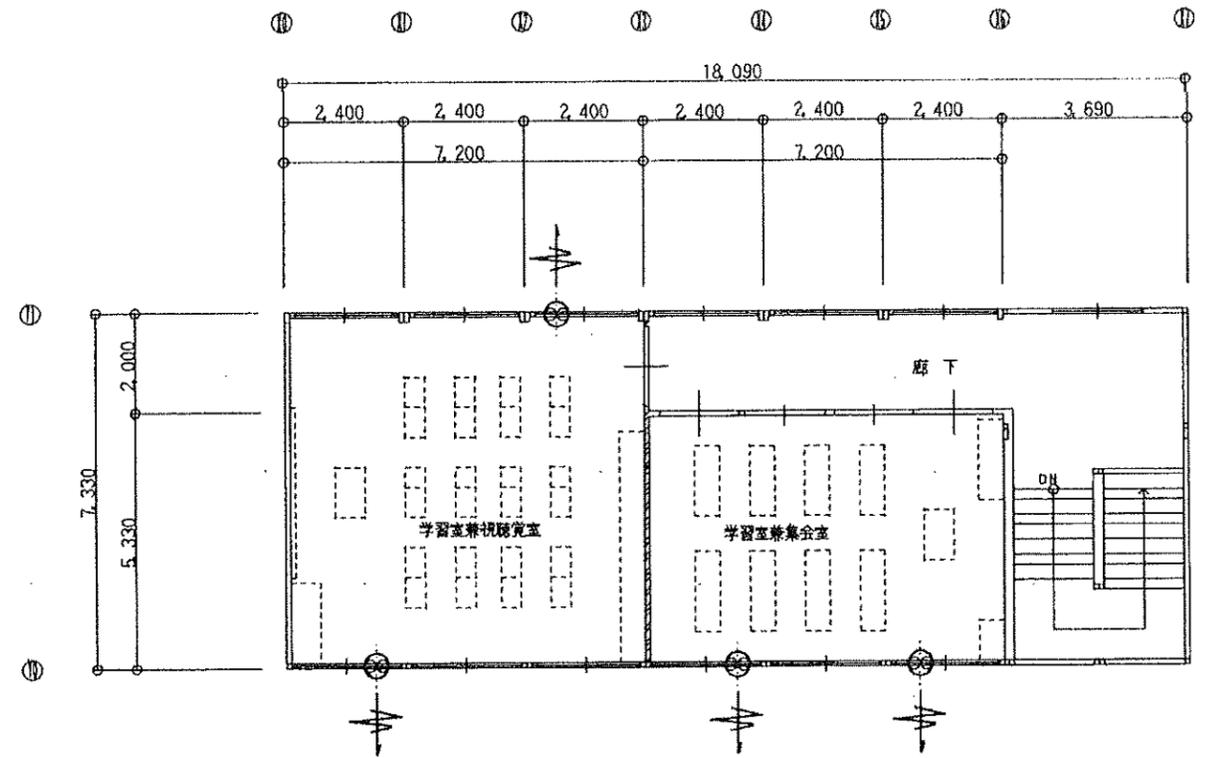
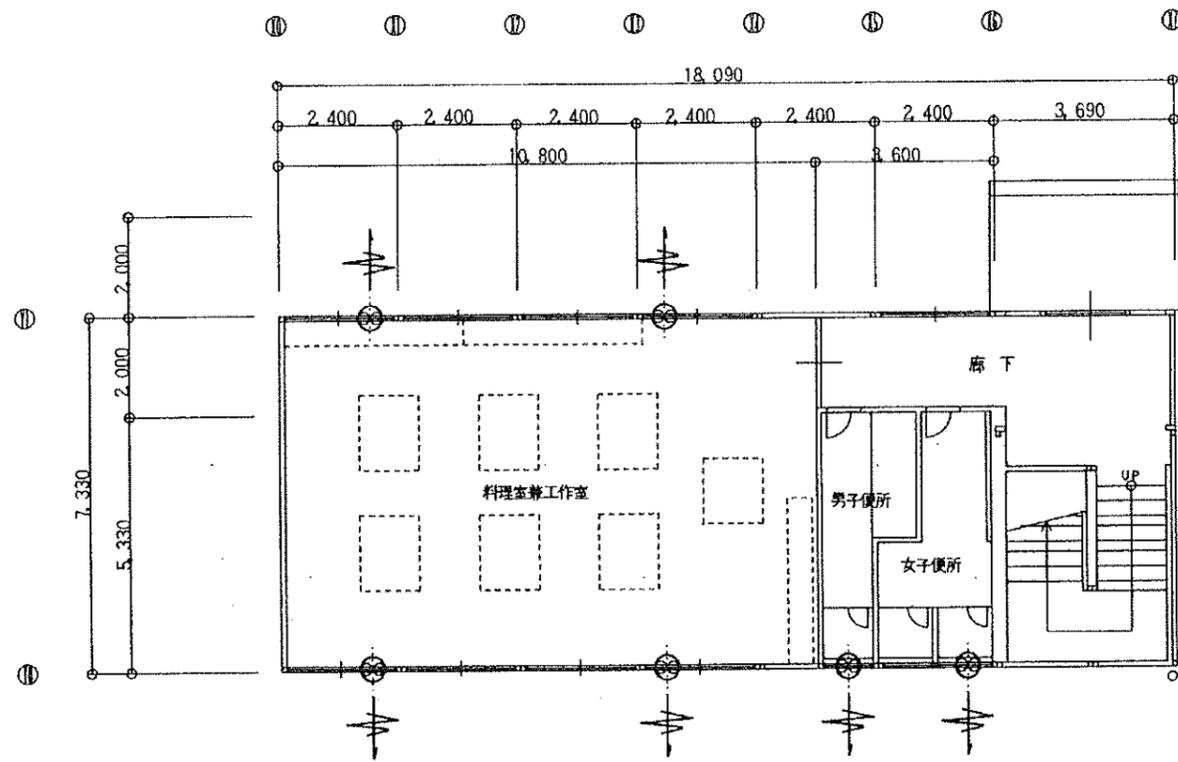
注) 本図中の機器・配管を全て撤去とする。

訂正	令和 年 月 日	 株式会社 小笠原設計 OGASAHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所大阪府知事登録(シ)第593号 管理建築士 祝 正人 級建築士登録番号第238150号	年月日 令和 7年 10月	工事名称 善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事	図面番号
			図面名称 遊戯棟解体 1・2階平面図(衛生・換気)	縮尺 A2→1/100	M-006



注) 本図中の壁等を全て撤去とする。

訂正	年月日		株式会社 小笠原設計 OGASAHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所大阪府知事登録(シ)第593号 管理建築士 現 正人 1級建築士登録番号第238350号	設計年月	令和 3年 10月	工事名	善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事	図面番号	M-007
						図面名	遊戯棟解体 2階平面図(換気)	縮尺	A2→1/100

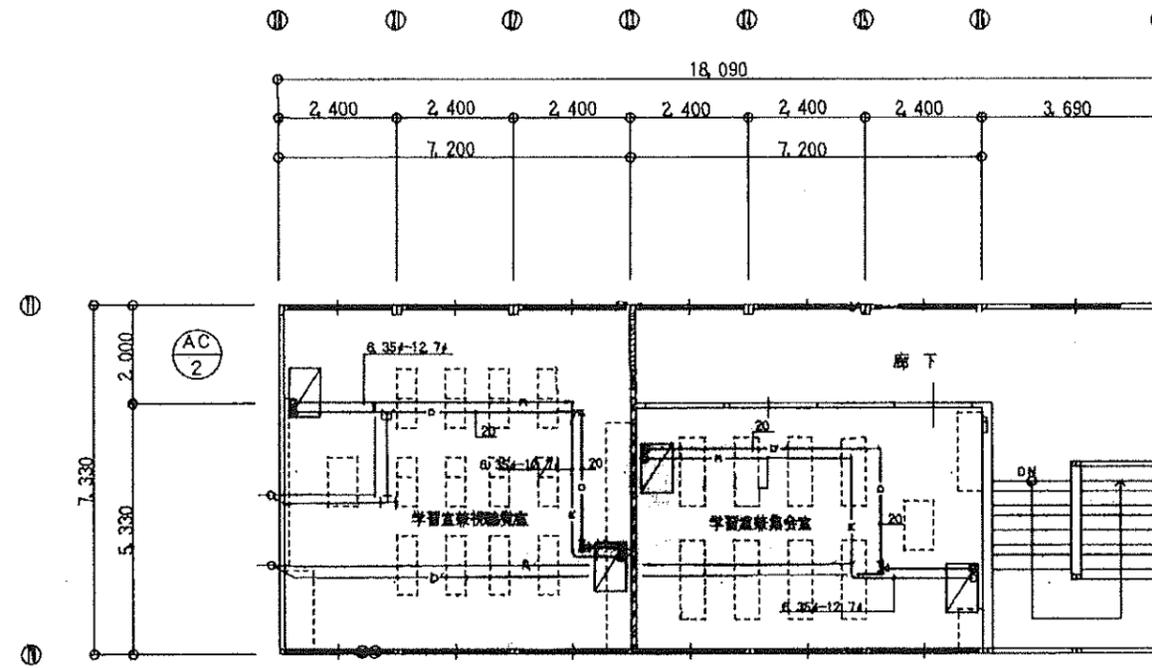
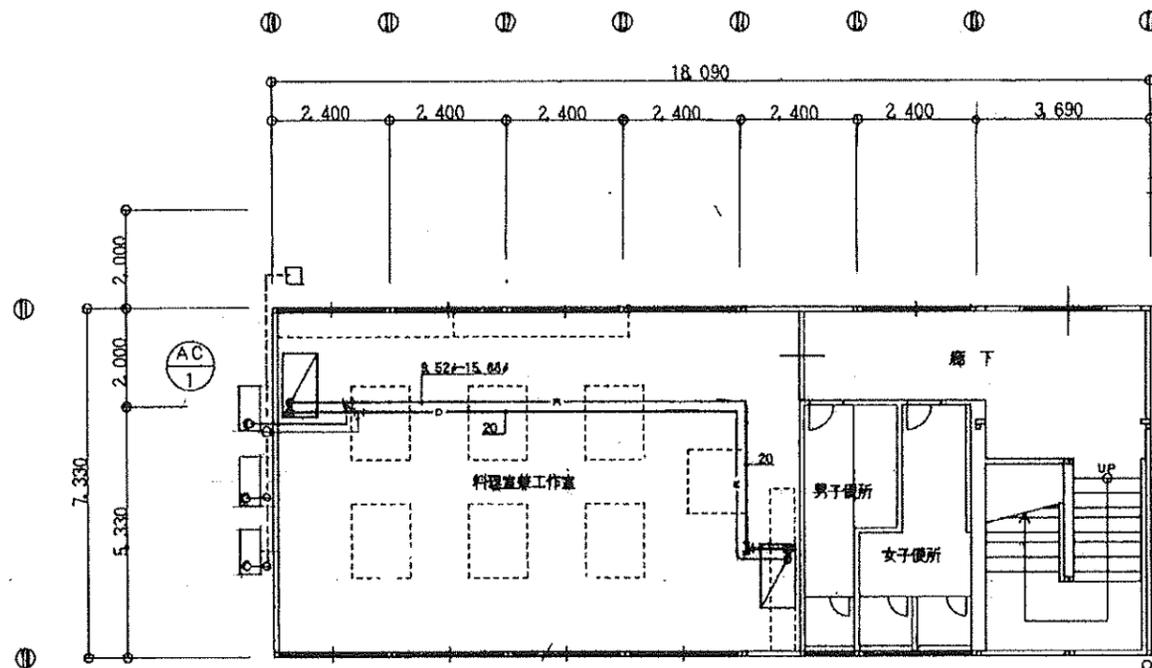


注) 本図中の機器を全て除去とする。

訂正	全10年 月 日	 株式会社 小笠原設計 OGASHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所 大阪府知事登録(シ)第593号 管理建築士 現 正人 1級建築士登録番号第238350号	日付年月	令和3年10月 図面番号 新館棟解体 1・2階平面図(換気)	工事名 善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事 図面名称 棟尺 A2→1/100	図面番号 M-008

機要表(パッケージエアコン)

記号	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電圧	消費電力 (kW)	台数	設置場所	付属品
AC-1	室外機	18.0	19.0	3φ200V	6.83	5.85	1階北側外壁	参考品番: 三菱電機住環境システムズ(株) 室外機: PUH-J180FK 室内機: PCH-J90FK (×2)
	室内機: 天井吊形						1階料理室兼工作室	
AC-2	室外機	11.2	11.8	3φ200V	4.32	4.05	1階北側外壁	参考品番: 三菱電機住環境システムズ(株) 室外機: PUH-J112FK 室内機: PCH-J56FK (×2)
	室内機: 天井吊形						2階学習室兼視聴覚室	
AC-3	室外機	10.0	11.8	3φ200V	4.32	4.05	1階北側外壁	参考品番: 三菱電機住環境システムズ(株) 室外機: PUH-J100FK 室内機: PCH-J50FK (×2)
	室内機: 天井吊形						2階学習室兼集會室	

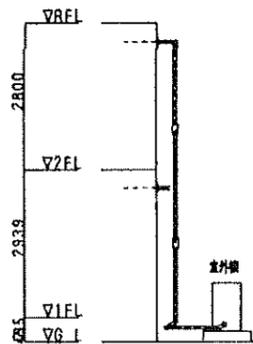


AC 1

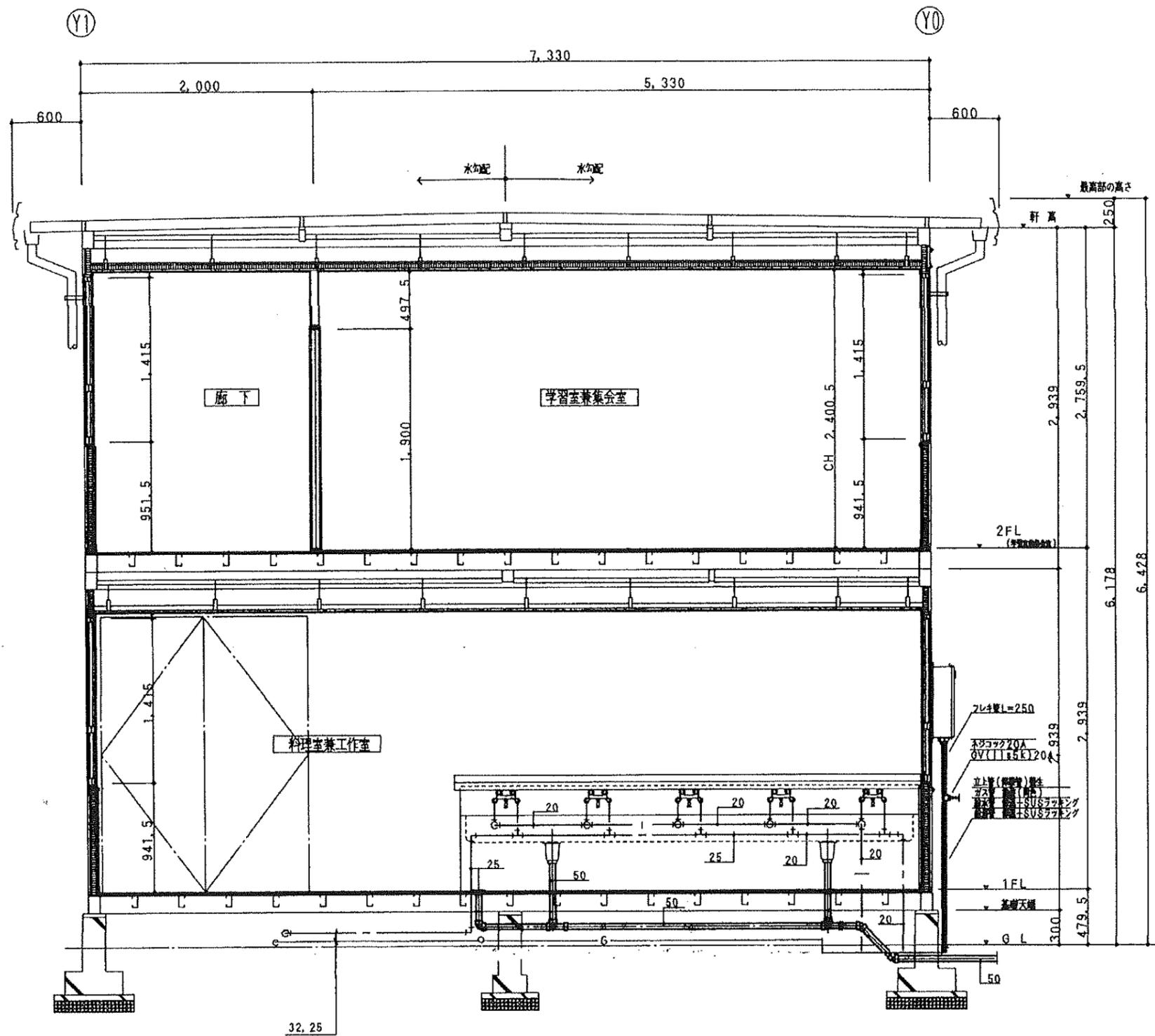
AC 2

AC 3

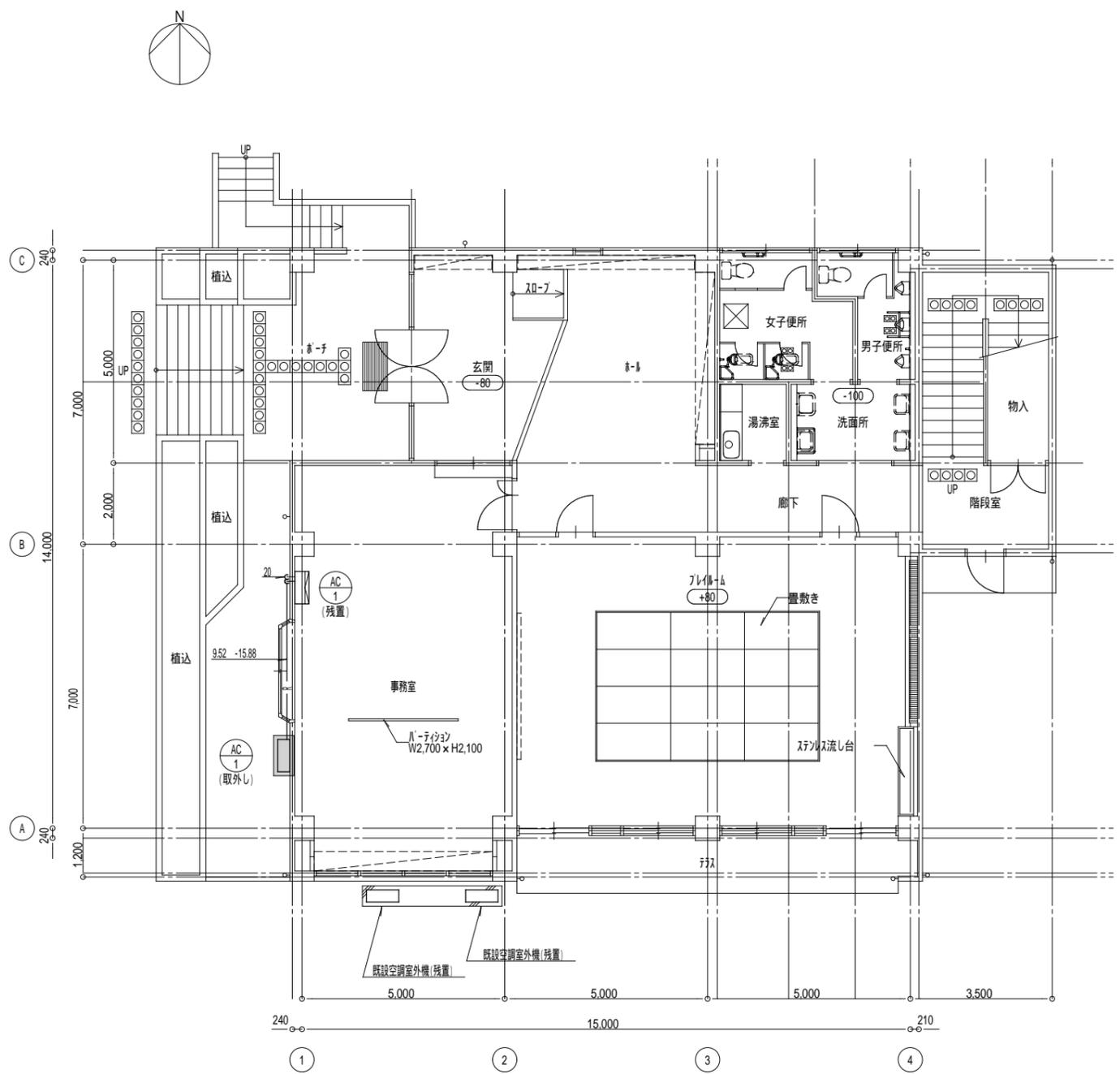
● 2



注) 本図中の機器・配管を全て除去とする。

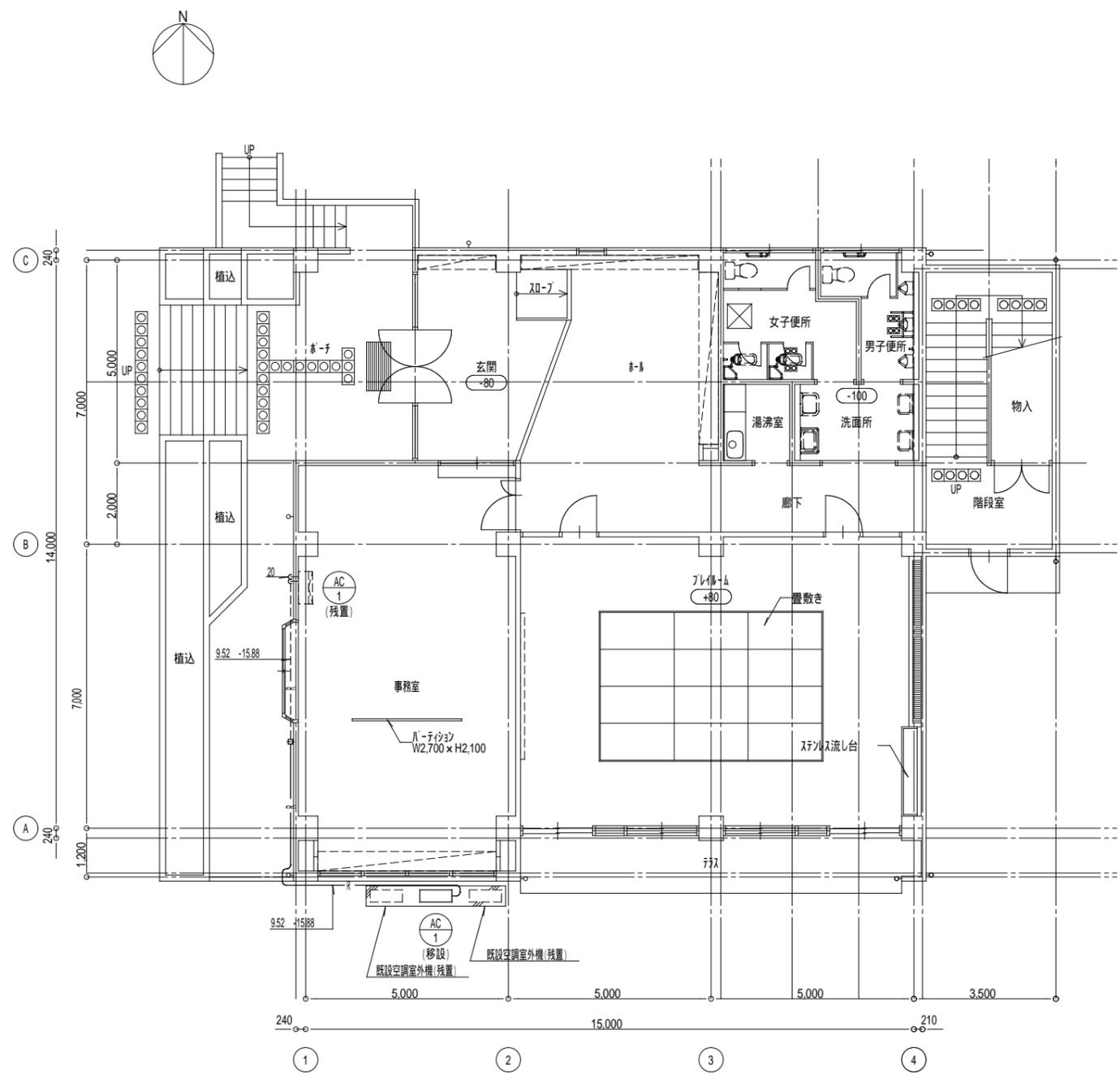


注) 本図中の器具・配管を全て撤去とする。



1階平面図 1:100 (撤去)

注) 本図中 ——— は 既設配管を示す。
 本図中 は 撤去範囲を示す。
 本図中 - - - - は 配管切断箇所を示す。



1階平面図 1:100 (改修)

注) 本図中 ——— は 新設配管を示す。
 本図中 - - - - は 既設配管を示す。
 本図中 -○- は 既設配管接続箇所を示す。

機器表(パッケージエアコン) (撤去)

記号	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源	消費電力 (kW)		台数	設置場所	付属品
					冷房	暖房			
AC-1	室外機	7.1	8.0	3 200V	2.11	2.21	1	1階西側外壁	参考品番: 三菱電機住環境システムズ(株) 室外機: PUZ-ERP80HA14
	室内機: 壁掛形								
室外機のみ取外し									

機器表(パッケージエアコン) (改修)

記号	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源	消費電力 (kW)		台数	設置場所	付属品
					冷房	暖房			
AC-1	室外機	7.1	8.0	3 200V	2.11	2.21	1	1階南側外壁	参考品番: 三菱電機住環境システムズ(株) 室外機: PUZ-ERP80HA14
	室内機: 壁掛形								
室外機のみ再取付									